

eコミグループウェア

インストールマニュアル

(Ver. 20100816)

独立行政法人防災科学技術研究所

目 次

1. インストールの前に.....	1
1.1. ドメインの用意.....	1
1.2. サーバーの用意.....	1
1.3. レンタルサーバーサービスへの登録.....	2
1.4. FTP でのファイル転送.....	2
1.5. パーミッションの変更.....	3
1.6. メールアドレスの準備.....	3
1.7. データベースの準備.....	4
2. インストール作業.....	5
2.1. 簡易インストール・ウィザードの起動.....	5
2.2. サイト名・URL・その他の設定.....	7
2.3. データベースの設定.....	9
2.4. 携帯用投稿メールの設定.....	10
2.5. ディレクトリの設定.....	12
2.6. Google Maps の設定.....	14
2.7. 初期ユーザー登録.....	16
2.8. 設定完了.....	17

1. インストールの前に

e コミュニティ・プラットフォーム 2.0（以降「e コミ 2.0」とする）をダウンロードして動かすためには、環境を用意する必要があります。

1 つでも欠ける場合、システムが動かない、もしくは、動作が不十分な動きをする可能性がありますので、ご注意ください。

1.1. ドメインの用意

e コミ 2.0 を動かすためには、独自ドメイン直下、もしくは、サブドメイン直下にファイルを掲載する必要があります。

【OK の例】

- ・ <http://www.ecom-plat.jp/index.php>
- ・ <http://trial.ecom-plat.jp/index.php>
- ・ <http://ecom-plat.jp/index.php>

【NG の例】

- ・ <http://www.ecom-plat.jp/ecom2/index.php>
- ・ <http://www.ecom-plat.jp/~ecom3/index.php>

インターネット接続サービス契約時に頂ける、上記 NG の様な URL がホームページとなる環境では、e コミ 2.0 を動かすことが出来ません。

必ず、独自ドメイン、もしくはサブドメインが使用できる環境をご用意ください。

1.2. サーバーの用意

ダウンロードタイプの e コミ 2.0 をご利用になる場合は、独自ドメインと一緒にサーバーを用意していただく必要があります。

サーバーを選ぶ際に、確認しなければならない点が 3 点あります。

①MySQL5 系が使用できる、②PHP5 系が使用できる、③ImageMagick が使用できる、以上の 3 点です。

①と②については、2009 年 11 月末日現在の大手商用共有型レンタルサーバーサービスでは 5 系統が主流になっているため、この点についてはほぼ問題が無いかと思われます。

③については、「Q&A」や「FAQ」、「よくある質問」の所を読まないで書かれていないケースがありますので、よく探して確認を行ってください。もしわからない場合は、直接レンタルサーバー会社の窓口を確認を行ってください。

1.3. レンタルサーバーサービスへの登録

最近のレンタルサーバー登録サービスは、クレジットカード決済を使用すると、直後から使用できるケースが増えてきました。

ただ、法人や団体での決済の場合、銀行振込にしなければならない場合があります。この場合は、代金が振り込まれたのを確認した後にレンタルサーバー会社が設定を開始しますので、サーバーのセットアップまでに数日かかるケースがあります。

また、新規でドメインを取得した場合でも、DNS サーバーの情報が反映されるまで、早ければ数分、遅い場合は 1 週間以上かかることもありますので、日程やスケジュールには余裕を見る様にしてください。

どのくらいで使えるようになるかは、直接レンタルサーバー会社、もしくはドメインを取得した会社にお問い合わせください。

最近の傾向としては、サブドメインだと数分程度、gTLD (.com/.net/.org 等) だと数十分程度、汎用 JP (.jp) だと数時間程度、属性 JP (.co.jp 等) だと数日というのが 1 つの目安だそうです

※ ただし、設定環境によって大きく条件が異なるため、必ずしもこの通りの時間で使えるという訳ではありません

1.4. FTP でのファイル転送

レンタルサーバーの契約が終了したら、レンタルサーバー会社から FTP でのファイル転送設定が書かれた情報が届くと思います。

その FTP 設定に従って、e コミ 2.0 のファイルを転送してください。

転送しなければならないファイルは、この説明書が置かれていた所と同じ所に [html] というフォルダの中に格納されているもの全てです。

※ html というフォルダ自体は、説明書きとの区分けのために用意したフォルダです。e コミ 2.0 自体の運用では必要ありませんので、「html フォルダの中身だけを全て」転送するようにしてください。

※ FTP の時に使用するソフトは、普段お使いのソフトで構いませんが、Windows をお使いの方はフリーソフトで FTP や SFTP にも対応している WinSCP (<http://winscp.net/jp/>) の使用をお勧めいたします。

1.5. パーミッションの変更

e コミ 2.0 は、最初のインストールが終了した後は、基本的にはブラウザ上からほとんどの作業を行うことができる仕組みになっています。

そのためには、いくつかのディレクトリに対してのパーミッションの変更を行い、ブラウザからファイル操作を行うことができる環境を用意しなければなりません。

設定しなければならないディレクトリは、以下の 7 つです。

- (WEB-Directory) /config/
- (WEB-Directory) /_tpl_compile/
- (WEB-Directory) /_tpl_cache/
- (WEB-Directory) /_tpl_config/
- (WEB-Directory) /databox/
- (WEB-Directory) /modules/
- (WEB-Directory) /skin/

いずれも、777 もしくは 707 の権限が必要になるのですが、サーバーの設定によってどちらかが禁止されているケースがあるので、詳しくはレンタルサーバー会社提供のユーザーマニュアルをご確認いただくか、もしくは、レンタルサーバー会社にご確認の上で作業を行ってください。

なお、この作業を忘れてインストール作業を行った場合は、インストール途中で赤いエラー表示が出てきますので、指示に従って環境設定をするようにしてください。

1.6. メールアドレスの準備

e コミ 2.0 では、電子メールアドレスをいくつか使用しますので、事前に準備をしておくことをお勧めします。

用意しておくメールアドレスは、以下の 4 種類です。

- 送信メール用のメールアドレス
- エラー通知メールアドレス
- 携帯電話投稿用メールアドレス
- システム管理者メールアドレス

この 4 種類のメールアドレスは、それぞれ分担が異なりますので、必ず別のメールアドレスになるように設定をしてください。

1.7. データベースの準備

インストール作業をする最後に、データベースの準備を行います。
データベースは、最初に確認いただいたとおり、MySQL5 系を使用しますので、データベース選択時に間違わないようにしてください。
インストール時に必要となるデータベースの情報は、

- MySQL サーバー名
- MySQL 接続ユーザー名
- MySQL 接続パスワード
- MySQL データベース名

以上の 4 点です。データベースの設定時に、これらの情報を忘れずにメモしておくようにしてください。

2. インストール作業

以上の準備が終わったら、インストール作業に入ります。

e コミ 2.0 では、簡易インストール・ウィザードを導入していますので、指示通りにインストールを行うようにしてください。

2.1. 簡易インストール・ウィザードの起動

e コミ 2.0 では、簡易インストール・ウィザードが用意されています。

起動するためには、ブラウザで使用するドメインを URL 記述する場所に記載してください。

例： <http://www.ecom-plat.jp/index.php>

(www.ecom-plat.jp の部分は、ご自身の URL に置き換えてください)

この URL にアクセスをした段階で、初期設定が終了していない段階では、初期登録画面が表示されます。

また、2 回目以降に初期登録画面を表示したい場合は、以下の場所にプログラムがありますので、URL を記述してください。

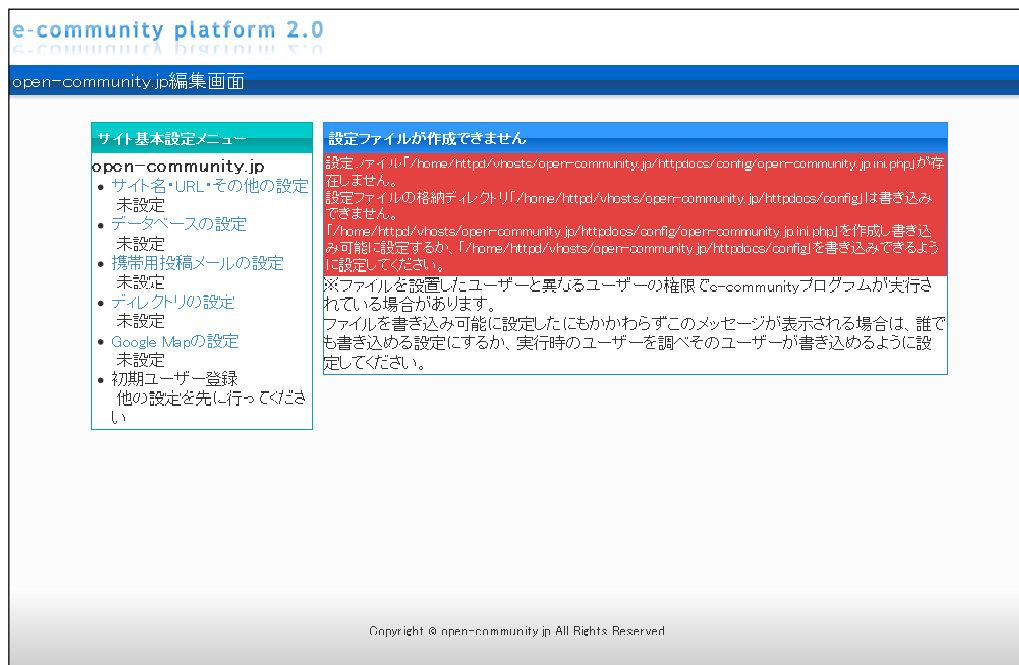
例： <http://www.ecom-plat.jp/manager/install/setup.php>

(www.ecom-plat.jp の部分は、ご自身の URL に置き換えてください)

正しく稼働をしていれば、以下のような画面が表示されます。



ただし、1.5 のパーミッションの変更での変更作業を忘れてしまった場合は、以下のようなエラー画面が表示されてしまいます。



この場合は、FTP ソフトを使って、サーバー上のディレクトリのパーミッションを変更し、再読み込みを行ってください。
前ページの表示になったら、設定が成功した証拠です。

以降、順追って設定内容記述の説明を行います。

2.2. サイト名・URL・その他の設定

最初に、「サイト名・URL・その他の設定」を行います。

The screenshot shows the 'e-community platform 2.0' administration page for 'open-community.jp'. The page is titled 'open-community.jp 編集画面'. On the left, there is a 'サイト基本設定メニュー' (Site Basic Settings Menu) with a tree view showing 'open-community.jp' and several sub-items, with 'サイト名・URL・その他の設定' (Site Name, URL, and Other Settings) selected. The main content area is titled 'データベースの設定' (Database Settings) and contains the following fields:

- サイト名: オープンソース・コミュニティ
- 公開設定: 公開する
- サイトURL: http://open-community.jp/index.php
- URL BASE: http://open-community.jp
- 送信メールの差出人アドレス: otoiawase@open-community.jp
- エラー通知メールアドレス: error@open-community.jp
- SMTTPサーバー: localhost
- 設定用パスワード: (masked with dots)

Below the password field, there is a note: 'この設定画面のためのパスワードです。eコミ2.0稼働時に使用するパスワードではありません。' (This is the password for this settings screen. It is not the password used for eComi 2.0 operation.) and a confirmation prompt: '確認のためもう一度入力してください' (Please enter again for confirmation). At the bottom of the form are two buttons: '設定' (Settings) and '設定メニューへ' (Back to Settings Menu). The footer of the page reads 'Copyright © open-community.jp All Rights Reserved'.

① サイト名

サイト全体の名称を名付けます。

ここで付けた名前は、パンくずリスト（TOP ページから下層ページに行った際に、どの経路で来たかを表示する仕組み）。

例えば、【 top > second > third 】という表示をする際の「TOP」の部分に入る名前にもなりますので、きちんとサイト名を付けるようにしてください。

② 公開設定

サイト自身の公開設定です。

基本的には、そのままお使いください。

③ サイト URL

e コミ 2.0 の TOP ページの URL です。

こちらでもデフォルトで記載されますので、そのままお使いください。

- ④ URL BASE
様々なプログラムを動かすときのベースとなる URL です。
こちらでもデフォルトで記載されますので、そのままお使いください。
- ⑤ 送信メールの差出人アドレス
新規ユーザー登録時や、e コミ 2.0 からユーザーへのメール送信時の from のアドレスになるメールアドレスです。
同時に、お問い合わせアドレスになることもありますので、専用のメールアドレスをご用意いただくことをお勧めいたします。
- ⑥ エラー通知メールアドレス
何らかのエラーを通知するためのメールアドレスです。
こちらでも、専用のメールアドレスをご用意いただくことをお勧めいたします。
- ⑦ SMTP サーバー
メール送信時のサーバー名を設定します。
一般的な商用レンタルサーバーでは、プログラムから直接送信することができますので、localhost のままで問題ないと思います。
- ⑧ 設定用パスワード
この管理画面に次回以降アクセスする際のパスワードです。
この様な説明書と一緒に配布をされると、管理画面の URL まで判明してしまうため、パスワードを設置しています。
このパスワードを忘れてしまうと、再発行できませんので、ご注意ください。
また、この設定用パスワードが盗まれてしまった場合、サイトの設定をいじられてしまい、設定が壊されることや、データの初期化を許してしまうことにもなりますので、簡単に推測できるものをパスワードに選ぶことや、誰にでもパスワードを教えてしまうということが無いように、十分にご注意ください。

2.3. データベースの設定

次に、「データベースの設定」を行います。

The screenshot shows the 'e-community platform 2.0' administration interface. The main content area is titled 'データベースの設定' (Database Settings). On the left, there is a sidebar menu with the following items:

- サイト基本設定メニュー
- オープンソース・コミュニティ (open-community.jp)
- リイト名・URL・その他の設定 (設定済み)
- データベースの設定 (未設定)
- 携帯用投稿メールの設定 (未設定)
- ディレクトリの設定 (未設定)
- Google Mapの設定 (未設定)
- 初期ユーザー登録 (他の設定を先に行ってください)

The main form contains the following fields:

- mysql サーバー名: localhost
- mysql 接続ユーザー名: user0123
- mysql 接続パスワード: password
- mysql データベース名: main

Below the form, there is a section for 'データベースの初期化' (Database Initialization) with the following text:

新しくサイトを立ち上げるときは、必ず初期化してください。
以前に同じバージョンのeコミを使用したことがあり、そのデータを利用したい場合は、初期化しないでください。

データベースを初期化する

At the bottom of the form, there are two buttons: '設定' (Settings) and '設定メニューへ' (Back to Settings Menu).

Copyright © open-community.jp All Rights Reserved.

- ① MySQL サーバー名
MySQL サーバー名を設定します。
ここでは、1.7 のデータベースの準備のところで取得したサーバー名を入力します。
- ② MySQL 接続ユーザー名
MySQL 接続ユーザー名を設定します。
ここでは、1.7 のデータベースの準備のところで取得したMySQL 接続ユーザー名を入力します。
- ③ MySQL 接続パスワード
MySQL 接続パスワードを設定します。
ここでは、1.7 のデータベースの準備のところで取得したMySQL 接続パスワードを入力します。
- ④ MySQL データベース名
MySQL データベース名を設定します。
ここでは、1.7 のデータベースの準備のところで取得したMySQL データベース名を入力します。

ここまでの入力が終わったら、設定ボタンを押してください。

2.4. 携帯用投稿メールの設定

次に、「携帯用投稿メールの設定」を行います。

The screenshot shows the 'e-community platform 2.0' administration interface. The page title is '携帯用投稿メールの設定' (Mobile Posting Email Settings). The sidebar menu includes 'サイト基本設定メニュー' (Site Basic Settings Menu) and '携帯用投稿メールの設定' (Mobile Posting Email Settings). The main content area contains the following fields and instructions:

- 携帯用投稿メールの設定
- 携帯から画像などを投稿する際に使用する宛先メールを設定します。メールによる投稿機能を使用しない場合は、全て空欄にしてください。
- 投稿用メールアドレス: keitaimail@open-community.jp
- POP サーバー名: pop.open-community.jp
- POP アカウント: keitaimail
- POP パスワード: password
- 設定 (Settings) button
- 設定メニューへ (Back to Settings Menu) button
- ※投稿用メールアドレスの検証は行われません。お間違えの無いよう、お確かめください。

① 投稿用メールアドレス

携帯電話から投稿するためのメールアドレスを設定します。
事前に、携帯電話投稿用のメールアドレスをご準備ください。

② POP サーバー名

携帯電話から投稿されたメールをシステムに取り込むために、POP サーバー名を設定します。

サーバー会社から提供されている説明書に「メールの設定」があると思いますので、そこに書かれている POP サーバー名、もしくは、POP3 サーバー名の記載方法に従って記入してください。

③ POP アカウント

携帯電話から投稿されたメールをシステムに取り込むために、POP アカウントを設定します。

サーバー会社から提供されている説明書に「メールの設定」があると思いますので、そこに書かれている POP アカウントの記載方法に従って記入してください。

④ POP パスワード

携帯電話から投稿されたメールをシステムに取り込むために、POP パスワードを設定します。

サーバー会社から提供されている説明書に「メールの設定」があ

と思いますので、そこに書かれている POP アカウムの記載方法に従って記入してください。

ここまでの入力が終わったら、設定ボタンを押してください。

携帯用投稿メールの設定は、画面にも書かれているとおり、使わないという選択肢もできます。

この場合は、①～④全てを空白の状態にしたまま、設定ボタンを押してください。

2.5. ディレクトリの設定

次に、「ディレクトリの設定」を行います。



e-community platform 2.0
オープンソース・コミュニティ編集画面

サイト基本設定メニュー

オープンソース・コミュニティ (open-community.jp)

- サイト名・URL・その他の設定 設定済み
- データベースの設定 設定済み
- 携帯用投稿メールの設定 設定済み
- ディレクトリの設定 未設定
- Google Mapの設定 未設定
- 初期ユーザー登録 他の設定を先に行ってください

ディレクトリの設定

Smarty コンパイルディレクトリ
_tpl_compile

Smarty キャッシュディレクトリ
_tpl_cache

Smarty コンフィグディレクトリ
_tpl_config

データ格納場所のURLプレフィックス
ファイル倉庫にアップロードしたファイルおよびプロフィールのアイコンとしてアップロードしたファイルにアクセスする場合にeコミ本体とは異なるURLでアクセスする必要がある場合はここに設定します。
http://open-community.jp

ファイル倉庫およびプロフィールのアイコンのファイル格納場所
databox

ImageMagickのconvertコマンドの場所
/usr/bin/convert

設定 設定メニューへ

Copyright © open-community.jp All Rights Reserved.

- ① Smarty コンパイルディレクトリ
Smarty のコンパイル用ディレクトリを設定します。
最初から記載される形になっていますので、そのままお使いください。
- ② Smarty キャッシュディレクトリ
Smarty のキャッシュ用ディレクトリを設定します。
最初から記載される形になっていますので、そのままお使いください。
- ③ Smarty コンフィグディレクトリ
Smarty のコンフィグ用ディレクトリを設定します。
最初から記載される形になっていますので、そのままお使いください。
- ④ データ格納場所の URL プレフィックス
各種データファイルのアップロード先の URL を設定します。
最初から記載される形になっていますので、そのままお使いください。

- ⑤ ファイル倉庫及びプロフィールのアイコンのファイル格納場所
ファイル倉庫及びプロフィールのアイコンのファイルを格納する場所を設定します。
最初から記載される形になっていきますので、そのままお使いください。
- ⑥ ファイル倉庫及びプロフィールのアイコンのファイル格納場所
ファイル倉庫及びプロフィールのアイコンのファイルを格納する場所を設定します。
最初から記載される形になっていきますので、そのままお使いください。
- ⑦ ImageMagick の convert コマンドの場所
ImageMagick の convert コマンドの場所を設定します。
最初から記載される形になっていきますが、念のためにレンタルサーバー会社が提供する説明書で、ImageMagick の convert の場所が合っているか、ご確認ください。

2.6. Google Maps の設定

次に、「Google Maps の設定」を行います。

The screenshot shows the 'e-community platform 2.0' administration interface. The page title is 'オープンソース・コミュニティ編集画面'. On the left is a 'サイト基本設定メニュー' (Site Basic Settings Menu) with a tree structure. The 'Google Mapの設定' (Google Map Settings) menu item is highlighted. The main content area is titled 'Google Mapの設定' and contains the following fields:

- Google Maps APIキー: Google Maps APIキーの取得はGoogleの該当ページより。
- 緯度経度情報の取得はGeocodingを使わせていただくと便利です。
中心経度(10進法 世界測地系):
- 中心緯度(10進法 世界測地系):
- 縮尺(0から19まで):

At the bottom of the settings area are two buttons: '設定' (Settings) and '設定メニューへ' (Back to Settings Menu). At the very bottom of the page, there is a copyright notice: 'Copyright © open-community.jp. All Rights Reserved.'

① Google Maps API キー

Google Maps API キーを設定します。

e コミ 2.0 のマップ機能では、Google Maps の機能を使用するため、稼働させるドメイン単位で事前に Google Maps API キーの発行をしなければなりません。

ウィザードから発行ページへのリンクが付けてありますので、そのリンクからたどっていき、API キーの発行を行ってください。

Google 社の利用規約をお読みいただき、同意し、使用するサイトの URL を記載すると、API キーの発行が行われます。

「Thank You for Signing Up for a Google Maps API Key!」と書かれたページに切り替わったら、画面上の方に「Your key is:」と書かれたものが見えると思います。

その文字の下に四角で囲まれた中の文字、全てをコピーして、①の欄に貼り付けてください。

② 中心経度（10 進法 世界測地系）

③ 中心緯度（10 進法 世界測地系）

地図を表示する中心点の経度と緯度を設定します。

中心地点の設定は、住所で行うのではなく、世界測地系の 10 進法表記で書かなければならないため、どう書いたらよいかわからないと思います。

そこで、ウィザードではお勧めの 1 つとして、これらの数値を間

違わずに拾いやすいサイト例として、geocoding さんのページを紹介させていただきます。

<http://www.geocoding.jp/>

検索結果例としては、この様な画面になります。



この画面が出ましたら、経度・緯度の括弧で書かれた中身の小数点表示された数字の方を、コピーして、それぞれ②と③に記載します。

④ 縮尺 (0 から 19 まで)

地図の縮尺を設定します。

0 を選ぶと画面に全世界が表示されるスケールで表示され、19 を選ぶと最大拡大状態で中心点を表示するスケールで表示されます。

デフォルトでは 15 になっていますので、まずはこの縮尺で試していただき、サイト構築をしながら数字の調整を行ってください。

2.7. 初期ユーザー登録

最後に、「初期ユーザー登録」を行います。

The screenshot shows the 'e-community platform 2.0' administration page. The title bar reads 'オープンソース・コミュニティ編集画面'. On the left is a navigation menu titled 'サイト基本設定メニュー' (Site Basic Settings Menu) with the following items: 'オープンソース・コミュニティ (open-community.jp)', 'サイト名・URL・その他の設定 設定済み', 'データベースの設定 設定済み', '携帯用投稿メールの設定 設定済み', 'ディレクトリの設定 設定済み', 'Google Mapの設定 設定済み', and '初期ユーザー登録 未設定'. The main content area is titled '初期ユーザー登録' (Initial User Registration) and contains the following text: 'eコミ2.0にユーザーを登録します。ここで登録したメールアドレス・パスワードを使用してeコミ2.0に管理者としてログインすることができます。登録したユーザーの編集は初期設定画面ではなくeコミ2.0から行ってください。' Below this text are three input fields: 'ニックネーム' (Nickname), 'メールアドレス' (Email Address), and 'パスワード' (Password). At the bottom of the form are two buttons: '設定' (Settings) and '設定メニューへ' (Back to Settings Menu). The footer of the page contains the text 'Copyright © open-community.jp All Rights Reserved.'

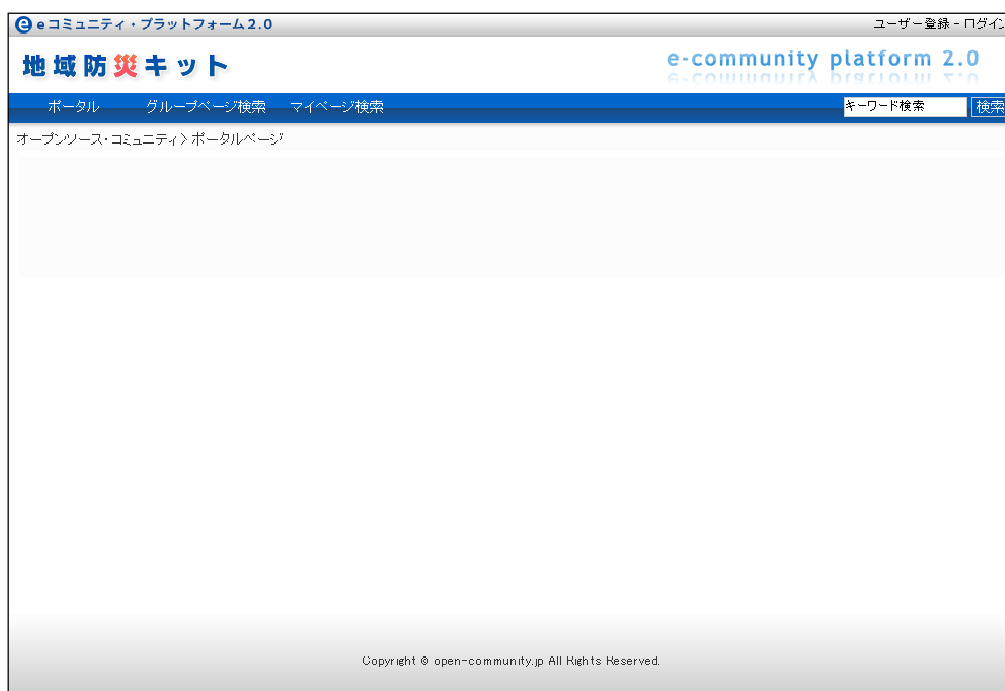
- ① ニックネーム
初期ユーザーのニックネームを設定します。
自由に名前を付けることができますが、この初期ユーザーは自動的にシステム管理者となりますので、「admin」としておくと、わかりやすいと思います。
- ② メールアドレス
初期ユーザーのメールアドレスを設定します。
組織として長年運用をしていると、管理者が変更になる場合もありますので、個人で使用するアドレスで登録をするのではなく、組織としての管理者アドレスを登録されることをお勧めします。
- ③ パスワード
初期ユーザーのパスワードを設定します。
システム管理者には、かなり多くの権限が付与されますので、いたずらにシステム管理者を増やしてはなりませんし、権限を与えてもなりません。
そのため、このシステム管理者になるためのパスワードとも言えますので、しっかりと管理をしなければなりません。
パスワードの保管・管理にはご注意ください。

2.8. 設定完了

初期ユーザー登録まで終わったら、設定完了です。
無事に完了したら、この様な画面に変わります。



一番下に、最初に設定したサイト名を用いて「(サイト名)を表示」というテキストリンクが表示されますので、早速押してみてください。
以下のようなページが表示されたら、インストール完了です。



eコミュニティ・プラットフォーム2.0インストールマニュアル
(Ver. 20100816)

独立行政法人 防災科学技術研究所
防災システム研究センター
災害リスク情報プラットフォーム研究プロジェクト
<http://www.bosai-drip.jp/>